

「出会いは人を変え、人生を変える」

校長だより

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

平成30年11月21日(水)

第17号

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」－ヘレンケラー－

”Once we share goals, we are all brothers and sisters!”

夢の実現とは、日々の地味な努力の積み重ねによってもたらされるものに他ならない。(稲盛和夫)

◎期末テストまであと6日です。しっかり文武両道の精神(スピリット)発揮してください。

只今、情熱発電機稼働中!(本校は夢のかけらを日々拾うドリームキャッチャースクールですよ)

◇学校行事、大会結果、イベント等

- 11月2日(金) 県駅伝競走大会が今帰仁で開催され、男子は2時間22分11秒で惜しくも2位、女子は1時間22分55秒で3位(女子Bは1時間27分51秒)でした。次年度こそウグ!
- 11月18日(日) 全九州駅伝競走大会が福岡で行われ、女子は県大会で負けたコザに競り勝ち22位、男子は惜しくも23位でした。(男子主力3名は受験のため参加できず)
- 全国高校ピブリオバトルの県大会が2日沖縄産業支援センターで開催され、野村紳二(3-4)君が2年連続最優秀賞に選ばれました。1月20日の全国大会出場が決定しました。
- 11月10日(土) 第97回全国高校サッカー選手権沖縄大会が黄金森陸上競技場で行われ、那覇西高校が延長戦の末、2-1で勝利。全国大会への切符を獲得しました。16度目の出場となります。なお、19日東京で抽選会が行われ、12月30日(日) 駒澤大学高等学校との対戦が決まりました。
- 10月31日(水) 県高校新人大会ハンドボール女子決勝; 那覇西17-11浦添に勝ち優勝しました。男子は普天間に32-20で勝ち、3位となりました。来月の全国選抜予選が楽しみです!

●校内外の小さな変化・成果に皆さん、気がつきましたか?

- 11/6(火)~13日(火) 国際人文科海外研修がオーストラリアのメルボルンで開催されました。各ホームステイ先で有意義な時間を過ごしていたそうです。コミュニケーション力が年々上達していること、礼儀・マナーが大変よかったとの報告もあり、団長としてうれしい限りです。ここまで導いてくれた英語科の先生方に感謝したいと思います。世界でもトップクラスのメルボルン大学の訪問は大きな刺激を受けたようでした。(大学生が校内の説明を丁寧にしてくれました。)引率をしていただいた稲嶺先生、久場川先生、添乗員の喜屋武さん、上家さん、本当にお疲れさまでした。
なお、世界で住みたい地域のベスト3にメルボルンは入っているようです。海岸沿いを毎朝散歩しましたが、ゴミが皆無、落書きもほとんどありませんでした。ショッピングモールも歩きましたが、生き生き、きびきびした従業員の姿が目につきました。(労働時間と労働賃金がしっかり保障されているからとのこと)メリハリのある学校生活、部活動との両立をしっかりと実践してください。

今昔物語 (九州体育研究協議会熊本大会から)

今回、熊本で開催された九州地区の体育科研究大会に参加した際、30年ほど前の熊本県で開催された九州大会の思い出が脳裏に浮かびました。一つは40度近くの猛暑のために屋外のプールの水温が高く、どの県の選手も記録が振るわなかったこと。(プールサイドの選手控え場所も輻射熱でかなりの高温となり、選手はコンディション作りに苦労していました)二つ目は高校時代の恩師城間堅吉先生が(当時那覇高校の顧問)県選手団一行として共に行動したことでした。先生から「長濱、明日から早朝5時から走ろう」と声をかけていただき、近くの山道をかなりの速さで走ったものです。並走して走ったのですが、先生の速さに驚嘆しました。途中、何度もスピードを落とそうとしたのですが、何かしら教え子としての意地のようなもので必死になったことを今でも覚えています。夜の反省会も先生は率先してザアモッチャー(座を持つリーダー)となり、引率の先生方の雰囲気や和やかなものにしてくださいました。先生はご退職なされて20年になりますが、先生とお会いするたびに、「無財の七施」という言葉思い出します。(眼施、和眼施、言辞施、身施、心施、壯座施、房舎施の七施)私も先生のように周りの人に喜びと刺激を与え、自分も幸せな気分になりたいものです。

指導者の心に火が灯らなければ、選手の心に火は灯らない。(能代工高バスケ元監督 加藤廣志氏)